

Forest Good2019 間伐・間伐材利用コンクール

製品づくり・利用部門 間伐推進中央協議会会長賞

株式会社 アキュラホーム

製品・取組等の名称	カンナ削りの木のストロー								
製品等の概要・特徴	間伐材を極薄にスライスし斜めに巻きつけ、木のストローに加工する世界初の量産技術を開発し、適切な間伐による森林保全及び海洋環境の改善の動機付けとなることを目的としている。活用方法が難しい間伐材を利用した木のストローを広く社会に普及させるための活動である。								
製品開発のきっかけ、取組	本プロジェクトは平成30年西日本豪雨の被害を視察した環境ジャーナリストが、土砂災害の一因に適切な間伐が行われておらず森林管理が不十分であることを問題視し、間伐材の有効活用が必要だとして企画された。当社は木造住宅を手がける性質上、木を活かす・守る活動の一環として、環境問題化している廃プラにも貢献可能である本ストローの開発に着手。この活動を通して、森林保全や海洋環境改善につなげていく。								
先進性・独創性・技術合理性	本ストローは、従来燃料以外に用途がなかった間伐材の新たな素材用途を提示した。細い間伐材や節がある木材も有効活用することができる。また、森林環境の整備、保全の観点、減災への願いから国産間伐材を主材料としている。林業のための開発であり、ひいては山の麓で暮らす人たちの生活を守ることに繋がる。適宜適切な間伐を持続的にする必要性の訴求を促進するため、マイ箸のように長持ちさせるのではなく、使ったら敢えて可燃ごみとして捨てる循環を重視して開発した。木目を美しく見せつつ、木の絶妙な柔らかさ、口当たりの良さを残すことにも成功している。								
社会生活への貢献性	燃料として8,000円/1tで売買されていた間伐材で、約74万本のストローを作ることができ、木製ストローの全体の合計価格は約740万円となる（価格を10円/本とした場合）。本ストローの製造装置が完成した暁には、装置そのものを日本国内へ広く提供し、地域の間伐材で地産地消できる木製ストロー製作事業の創出に寄与したい。事業の創出によって地域の雇用も促進される。また、障がい者雇用・高齢者雇用促進の一環となるように全自動機械化の他に手動機械の開発を進め、軽作業で誰でも製作できる木製ストローの事業展開もしていきたい。								
材料の地域性、有効利用の状況	現在横浜市と地産地消に向け、プロジェクトに取り組んでいる。横浜市が管理している森林の間伐材を利用し、横浜市民の障がい者の方々々が製作して、横浜市内のお店や横浜市主催の環境イベントで提供するといった活動である。今後、横浜市だけでなく新たな自治体に広めることにより地産地消のロールモデルとなる。								
普及の可能性・普及啓発の取組状況	地域材で製造した木のストローをその地域で販売できるよう自治体と連携し、地産地消モデルの確立を目指す。また日本のみならず海外も間伐材の問題に対する関心度は高く、ヨーロッパやアジア諸国から大きな反響があった。間伐材の樹種や節の有無に関わらず作れる特性を活かし、アジアなど発展途上国へ積極的に技術を普及し、世界規模の森林保護と産業への発展を期待している。								
製品・取組等の写真・図表等	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>社会背景と問題提起</p> <p>■海洋環境問題 2020年までに海洋中のプラスチックが海の底に届くという予測が発表され、問題が深刻化し、一時的な対策でプラスチック問題を解決する必要があり。</p> <p>■森林保全問題 適切な間伐が実施されず、森林の土壌が崩壊し、土砂災害のリスクが高まっている。適切な間伐による森林保全が求められる。一時的な対策で森林保全問題を解決する必要があり。</p> <p>■効果</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスチック製品の削減 海洋環境問題の解決 間伐材の有効活用 プラスチック製品の無差別な廃棄への削減 </div> <div style="width: 35%; text-align: center;"> <h3>Wood Straw Project</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>発案</th> <th>企画・開発</th> <th>監督・導入</th> <th>連携</th> </tr> <tr> <td>環境ジャーナリスト</td> <td>アキュラホーム</td> <td>ザ・ウッド・ストロー・プロジェクト</td> <td>産学・自治体</td> </tr> </table> <p>効果</p> <p>■効果</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスチック製品の削減 海洋環境問題の解決 間伐材の有効活用 プラスチック製品の無差別な廃棄への削減 </div> <div style="width: 30%;"> <p>木は再生産可能・持続可能な資源</p> </div> </div>	発案	企画・開発	監督・導入	連携	環境ジャーナリスト	アキュラホーム	ザ・ウッド・ストロー・プロジェクト	産学・自治体
発案	企画・開発	監督・導入	連携						
環境ジャーナリスト	アキュラホーム	ザ・ウッド・ストロー・プロジェクト	産学・自治体						

連絡先等	(住所) 〒163-0234 東京都新宿区西新宿二丁目 6-1 新宿住友ビル 34F (担当部署等) 次世代建築事業部 (電話番号等) TEL:03-6302-5270 FAX:03-5909-5608 (URL) (会社) http://www.aqura.co.jp/ (木のストロー) https://www.thewoodstraw.com/
------	--